「特定健診取込」操作説明

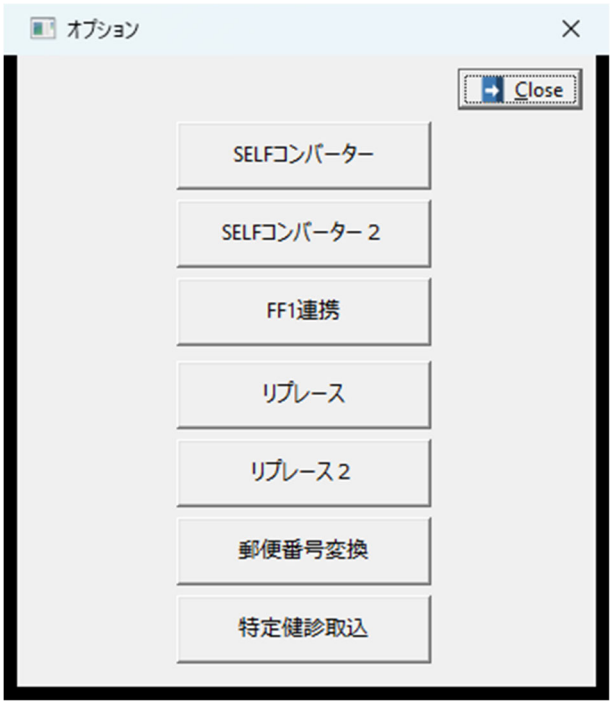
処方連携が出力した「特定健診受診年月」の CSV から特定健診を受診した患者を抜き出して、SELF の「電カル連携」用の連携ファイルを作成する機能です。
対象になるのは、指定した対象年月から 6 ヶ月前までの間に特定健診を受診し、受診した時点の年齢が 40 歳以上 75 歳未満の患者です。

１．処方連携で「特定健診受診年月」の CSV を作成する

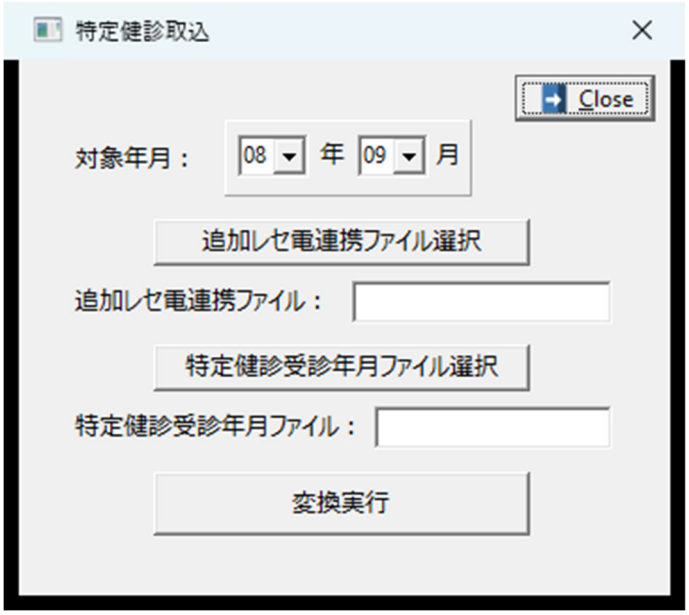
処方連携を起動し、［設定］→［特定健診 CSV 出力］をクリックすると、特定健診受診年月_YYYYMMDD.csv（YYYYMMDD は作成した日）が作成されます。

- 出力されるのは、処方連携で受付一覧を表示したか、カルテ番号で検索したことのある患者だけです。ORCA に登録されている全患者ではありません。
- 健診データは、マイナ保険証の同意で取得できたものに限られます。
- 患者 1 人ごとに ORCA へ問い合わせるため、記録済みの患者が多い医療機関では出力に時間がかかります。

２．SELF サポートツールの［オプション］→［特定健診取込］をクリックする



３．「特定健診取込」の画面が開く



① 対象年月を選びます。和暦の年と月です。画面の例は 08 年・09 月なので、2026 年 9 月が対象年月になります。

② 特定健診以外に取り込みたい電カル連携ファイルがあれば、［追加レセ電連携ファイル選択］をクリックして選びます。なければ空欄のままで構いません。

③ ［特定健診受診年月ファイル選択］をクリックし、１．で作成した特定健診受診年月_YYYYMMDD.csv を選びます。

④ ［変換実行］をクリックします。

４．「作成されました」のメッセージを確認し、［ダウンロード］をクリックする



電カル連携ファイル（YYYYMM_carte_特定健診.csv）がダウンロードされます。ダウンロードしたファイルは適時必要な場所に移動してください。

条件に該当する患者が 1 人もいない場合は「条件に該当する患者がいませんでした。」と表示され、ファイルは作成されません。

■ 抽出条件

項目	条件
特定健診受診年月	対象年月から 6 ヶ月前まで。対象年月を含めて 7 ヶ月分。 例：対象年月が 2026 年 8 月の場合、2026 年 2 月から 2026 年 8 月まで。
受診時年齢	40 歳以上 75 歳未満。現在の年齢ではなく、健診を受けた時点の年齢で判定します。
受診時年齢が空欄の患者	対象外。生年月日が ORCA から取得できなかった患者です。
期間内に 2 回以上受診し	最も新しい受診年月を採用し、1 行だけ出力します。

ている患者	

■ 作成されるファイル

ファイル名は YYYYMM_carte_特定健診.csv（YYYYMM は対象年月）、SELF の電カル連携ファイル（100 項目・Shift_JIS）の形式です。

値が入るのは次の 5 項目だけで、それ以外の項目はすべて空欄になります。

項目	入る値
データ識別番号	カルテ番号
氏名	氏名
受診年月日	対象年月の YYYYMM01。全員同じ値が入ります。
特定健診の受診の有無《L》	1。全員同じ値が入ります。
特定健診の受診年月《L》	特定健診を受診した年月（YYYYMM）

並び順は特定健診受診年月の古い順で、同じ月の中は取込ファイルに出てくる順です。

■ 追加のレセ電連携ファイルについて

SELF コンバーター 2 などで作成した別の電カル連携ファイルを指定すると、その内容が特定健診の分に続けて書き出されます。

- 1 行目のタイトル行は 1 つだけになります。追加ファイルのタイトル行は取り除かれます。
- 同じカルテ番号の患者が特定健診の分と追加ファイルの分の両方にいる場合、2 行のまま出力されます。SELF は同じカルテ番号の行を 2 つ受け付けます。

■ 注意

- 作成されたファイルは SELF サポートツールと同じフォルダに作られ、［ダウンロード］で保存先へ移動します。
- ファイル名は SELF コンバーター 2 が作る YYYYMM_carte.csv とは別の名前なので、取り違えたり上書きしたりすることはありません。
- SELF への取り込み方は「SELF コンバーター 2 操作説明」の「電子カルテ連携ファイル登録」と同じです。

2026 年 9 月 22 日　作成